

IRミーティング

2016年3月期決算概要

科研製薬株式会社

2016年5月16日

「あなたに笑顔」科研製薬の願いです

注意事項

- 本説明資料に記載されている業績予想等は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が合理的と判断したものです。
- 新薬が発売されるまでには、多額の資金と長い開発期間が必要となります。有効性と安全性を確認しながら慎重に開発を進めていくうちには、開発中止となる可能性があります。
- 「開発テーマの状況」は、現時点の開発計画に基づいて作成しております。開発計画の進行に伴い、変更等が発生する可能性があります。

会社概要

2016年3月31日現在

- 科研製薬株式会社
- 代表取締役社長 大沼 哲夫
- 設立 1948年3月1日
- 資産合計 132,991百万円(連結)
- 資本金 23,853百万円
- 株主資本合計 87,568百万円(連結)
- 主な事業内容 医薬品、医療機器、農業薬品、飼料添加物の製造・販売
及び不動産の賃貸
(医薬品等 91.2% 農業薬品 5.1% 不動産 2.1% その他 1.6%)
- 主な事業所 全国8支店62営業所、新薬創生センター、CMCセンター、静岡工場
- 従業員数 1,451名(連結)
内 営業本部 925名、研究開発本部 248名、生産部門 129名
- 株主構成 株主数 11,565名 単元株主数 10,303名
(個人 16.4% 金融機関 27.6% 国内法人 12.1% 外国人 27.1%)
- 子会社 科研ファルマ(株)

2016年3月期決算のポイント

- 売上高、営業利益、純利益が過去最高を更新
 - 売上高が初めて1,000億円を突破
 - クレナフィンが売上高伸長・原価率低減に貢献
- 14期連続の増配を予定
 - 年間配当28円増(併合後基準)
普通配当18円、記念配当10円を予定

2016年3月期損益実績(連結)

(百万円未満切捨)	2015年 3月期	2016年 3月期	増減	前期比 (%)
売上高	93,889	109,730	15,840	116.9
営業利益	20,631	35,146	14,515	170.4
経常利益	20,394	35,365	14,971	173.4
税引前当期利益	18,611	35,292	16,680	189.6
当期純利益	12,122	21,143	9,020	174.4

- ・ 増収、大幅増益

クレナフィン・Jubliaの売上が
増収増益に寄与

原価率が低減
(47.7% → 43.4%)

- ・ 販管費: 26,490百万円
(前期比 ▲ 2,014百万円)

研究開発費: 5,883百万円
(前期比 ▲ 1,731百万円)

- ・ 14期連続の増益

売上内訳(連結)

(百万円未満切捨)	2015年3月期	2016年3月期	増減	前期比 (%)
医療用医薬品・医療機器	78,338	90,849	12,510	116.0
農業薬品	5,472	5,620	147	102.7
不動産賃貸料	2,429	2,338	▲90	96.3
その他	7,649	10,921	3,272	142.8
Jublia関連売上※	3,318	5,722	2,403	172.4
合計	93,889	109,730	15,840	116.9

(※原体売上、製剤売上、ロイヤリティ収入、マイルストーン収入を含む)

販管費の推移

(百万円未満切捨)	2013年 3月期	2014年 3月期	2015年 3月期	2016年 3月期
売上高	87,054	88,946	93,889	109,730
販管費	27,474	27,907	28,504	26,490
研究開発費	6,302	7,045	7,615	5,883
研究開発費を除く 販管費	21,171	20,861	20,889	20,606
対売上高比率	24.3%	23.5%	22.2%	18.8%

連結貸借対照表

借方

貸方

(単位:百万円未満切捨)

	2015年 3月期末	2016年 3月期末	増減		2015年 3月期末	2016年 3月期末	増減
流動資産	69,016	88,991	19,975	流動負債	30,369	33,861	3,491
固定資産	46,118	43,999	▲2,118	固定負債	7,665	9,255	1,589
資産合計	115,135	132,991	17,856	負債合計	38,035	43,116	5,081
				純資産合計	77,100	89,875	12,775

主な変動科目 (百万円未満切捨)

◆資産 現金及び現金同等物 : 41,744百万円 (+ 16,976百万円)

有形固定資産 : 26,726百万円 (+ 764百万円)

◆負債 有利子負債 : 3,875百万円 (▲ 320百万円)

◆純資産 利益剰余金 : 68,609百万円 (+ 15,676百万円)

自己株式 : 16,301百万円 (B/S上は純資産の減算項目です)

連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円未満切捨)	2015年 3月期	2016年 3月期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,737	27,067	12,329
投資活動によるキャッシュ・フロー	473	▲4,105	▲4,579
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲7,900	▲5,984	1,916
現金及び現金同等物の期末残高	24,767	41,744	16,976

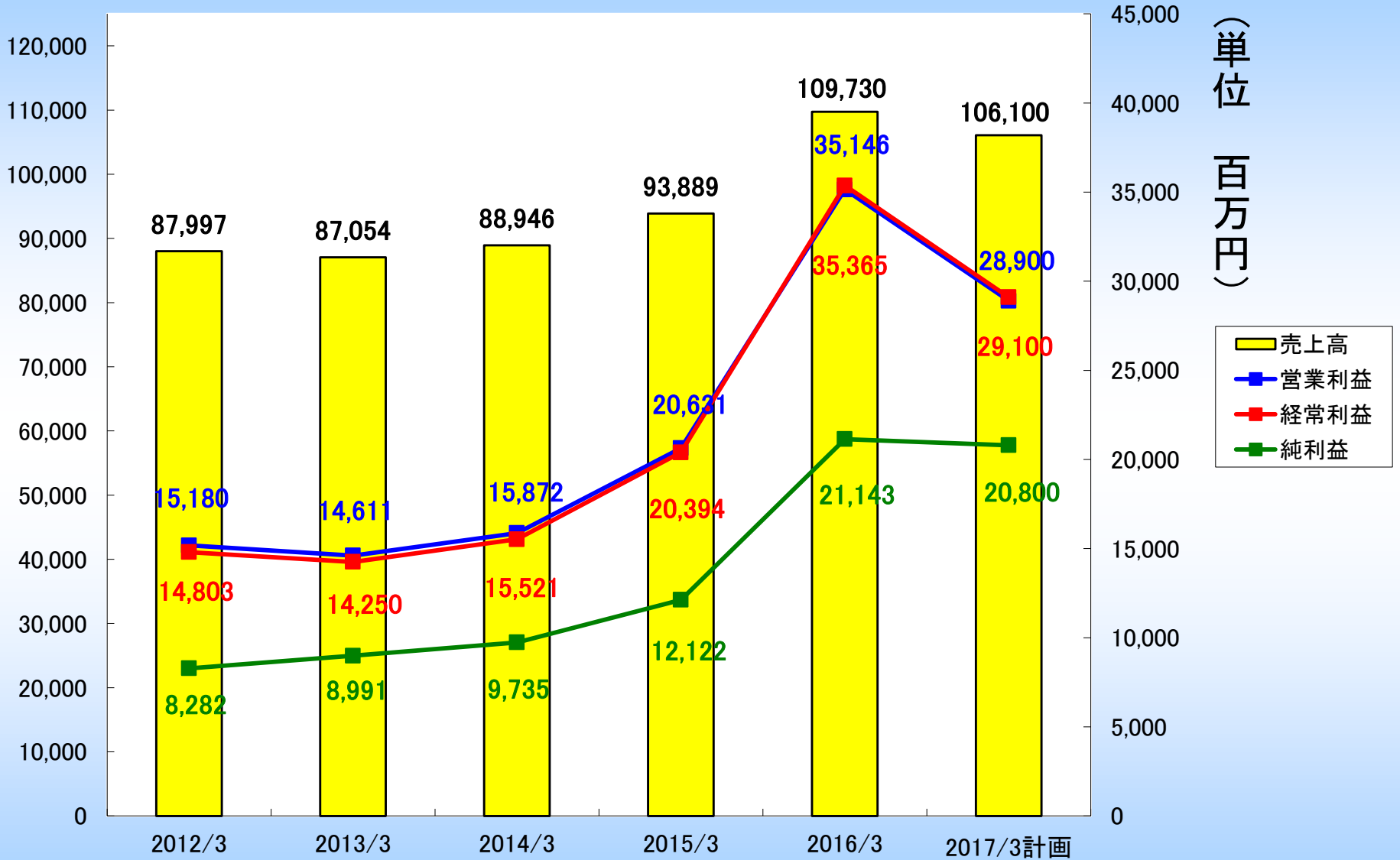
- ※ 営業活動によるキャッシュ・フロー
税金等調整前当期純利益：35,292百万円
- ※ 投資活動によるキャッシュ・フロー
有形固定資産の取得：3,124百万円
- ※ 財務活動によるキャッシュ・フロー
配当金支払額：5,463百万円

主な医薬品・医療機器の売上実績内訳

(百万円未満切捨)	2015年 3月期	2016年 3月期	前期比 (%)
アルツ	30,259	30,760	101.7
クレナフィン	6,857	19,868	289.7
セプラフィルム	10,791	11,262	104.4
リピディル	4,373	4,526	103.5
フィブラストスプレー	3,511	3,617	103.0
ジェネリック医薬品計	12,380	13,292	107.4

- ・アルツ
ヒアルロン酸関節注射が唯一の関節機能改善剤であることを訴求するとともに、市場シェア拡大に向けた取り組み強化により伸長
- ・クレナフィン
爪白癬治療の新たな選択肢として皮膚科医の理解が進み、順調に伸長
- ・セプラフィルム
使いやすい大きさの新材形の認知が進み、小切開創への使用が拡大
- ・リピディル
糖尿病合併高脂血症などに対する投与意義が徐々に浸透
- ・フィブラストスプレー
熱傷診療ガイドラインでの好評価を得て、使用意義が浸透
- ・ジェネリック医薬品
既存製品の伸びに加え、新製品も増収に寄与

業績推移(連結)



年間配当※ 80円 88円 96円 118円 146円 150円 (予定)

※2015年10月1日付で株式併合(2株を1株に併合)を実施しております。
 上記年間配当は、株式併合後の基準で換算した金額を記載しております。

開発テーマの状況

	開発コード	適応症	開発段階	承認予定 (年)	備考
1	KCB-1D	歯周病	申請中	2016	bFGF
2	KAG-308	潰瘍性大腸炎	P II		旭硝子株式会社と共同開発 経口プロスタグランジン製剤
3	BBI-4000	原発性局所多汗症	P II 準備中		ブリッケル・バイオテック社より導入 外用抗コリン剤
4	SI-657	腱・靭帯付着部症	開発中止		生化学工業株式会社と共同開発 「アルツ」効能追加

2017年3月期損益計画(連結)

(百万円未満切捨)	2016年 3月期 実績	2017年 3月期 計画	増減	前期比 (%)
売上高	109,730	106,100	▲3,630	96.7
営業利益	35,146	28,900	▲6,246	82.2
経常利益	35,365	29,100	▲6,265	82.3
税引前当期利益	35,292	29,000	▲6,292	82.2
当期純利益	21,143	20,800	▲343	98.4

- ・減収減益
薬価改定の影響:5%台半ば
- ・販管費: 30,800百万円
(前期比 +4,310百万円)
- 研究開発費: 10,200百万円
(前期比 +4,317百万円)
- ・15期連続の増配を予定
年間150円配当

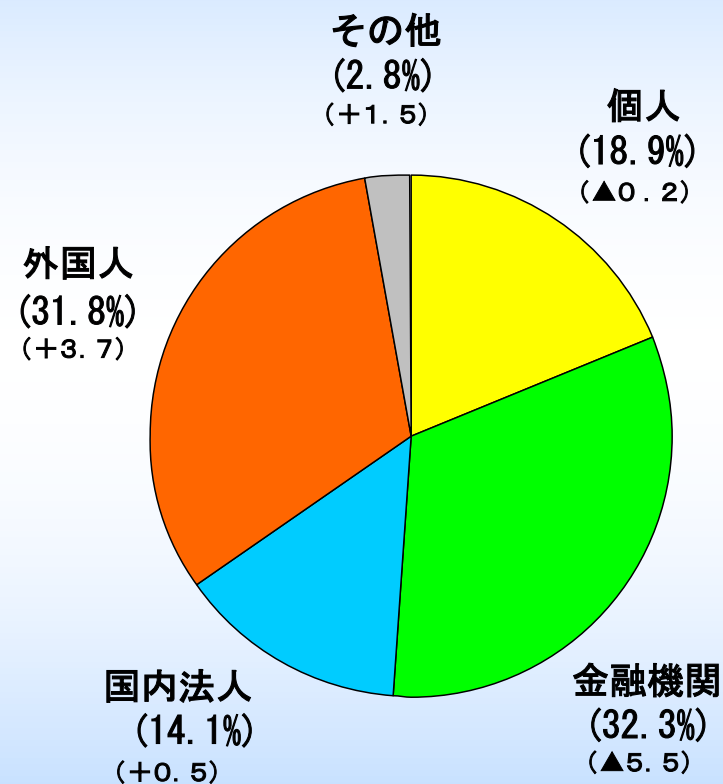
主な医薬品・医療機器の売上計画内訳

(百万円未満切捨)	2016年 3月期 実績	2017年 3月期 計画	前期比 (%)
アルツ	30,760	29,300	95.3
クレナフィン	19,868	23,800	119.8
セプラフィルム	11,262	11,500	102.1
リピディル	4,526	4,300	95.0
フィブラストスプレー	3,617	3,700	102.3
ジェネリック医薬品計	13,292	12,700	95.5

- **アルツ**
変形性膝関節症の第一選択薬としての情報提供を更に強化し、ヒアルロン酸市場全体の拡大を推進していく
- **クレナフィン**
製品特性を訴求し、安全性・有効性の両面で皮膚科医の評価を確実なものにする
- **セプラフィルム**
新材形を中心に、消化器外科・産婦人科への浸透率を上げていく
- **リピディル**
脂質関連ガイドラインおよび糖尿病診療ガイドライン情報の活用により、更なる拡大を図る
- **フィブラストスプレー**
創傷関連ガイドライン情報の活用により、皮膚科・形成外科への情報提供を強化
- **ジェネリック医薬品**
昨年12月に発売した製品を中心に、既存製品の更なる浸透に注力

大株主一覽表(2016年3月末)

	会社名または氏名	持株数 (千株)	議決権 比率 (%)
1	東レ株式会社	2,294	5.6%
2	農林中央金庫	1,843	4.5%
3	株式会社みずほ銀行	1,474	3.6%
4	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	1,375	3.3%
5	日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	1,185	2.9%
6	杏林製薬株式会社	852	2.1%
7	日本生命保険相互会社	680	1.6%
8	科研製薬従業員持株会	635	1.5%
9	共栄火災海上保険株式会社	624	1.5%
10	MSCO CUSTOMER SECURITIES	561	1.4%



※自己株式数:7,033千株

中期経営計画 2018

◎ 2018年度数値目標

連結売上高 1,100億円

◎ 重点的な取り組み

- ① パイプラインの充実を最優先課題とし、可能な限りの経営資源を配分する
- ② クレナフィン及び新製品の価値最大化をはかり、かつ、既存製品に関しては営業基盤の強化と効率化に取り組む
- ③ 変革の時代にふさわしい、創造力豊かな人材の育成に取り組む